

千歯こき

刈り取ったイネやムギの穂先から、モミを落とす作業を脱穀といいます。

千歯こきは、たくさんの歯を並べ、穀物を歯と歯のすきまにはさんで引つ張って脱穀する農具です。イネやムギの束を上からたたきつけて引つ張ると、モミや実を一気に落とすことができます。江戸時代の中ごろに発明され、脱穀にはなくてはならない農具になりました。それまで使っていた「こきばし」(三十センチくらいの竹を縦に割り、片方のはしをひもでしばつたもの)よりずっと効率的でした。



歯が多くあるから千歯こきといいましたが、歯の数は実際は二十本くらいが一般的で、歯と歯の間隔は約二〜三ミリです。歯は初めは竹製でしたがやがて鉄製になりました。すきまに実がつまらないように歯の断面の形や歯の並べ方を変えるなどいろいろな工夫が重ねられました。

大正時代に回転式の足踏脱穀機が考えられるまでの約二百年間、広く農家で愛用されました。

坂祝町郷土資料館(丁Aめぐみの坂祝支店3階)の
 次回の開放日は、令和三年四月九日(金)(午後一時
 から三時まで)です。ぜひご覧ください。

広報文芸

町民俳句 文化協会さかほり俳句会

寒雀互いにふつくら毛づくろひ
 霜の朝子犬の住処見つけたり
 参道のかたき早梅に陽が通ふ
 一羽来てまた一羽来て寒雀
 山茶花や夕日の中に影落す
 正月や大正琴のわらべ唄
 幾年を変はらぬ山河初日燦
 葉牡丹や溢るる日射し渦の揺れ
 初雪に老いを知りたる滑り傷
 筆勢の寒気を払ふ御朱印帳
 寒雀チチと明るく影ちらす
 寒椿静かなる日の落ちにけり

田口 孝和
 田口 孝和
 田口 孝和
 田口 孝和
 長瀬 静子
 長瀬 静子
 長瀬 静子
 岡本 憲子
 岡本 憲子
 岡本 憲子
 岡本 憲子
 兼松 禎子
 兼松 禎子
 兼松 禎子
 兼松 禎子
 兼松 禎子

坂祝町の情報をお届けしています!



さかほぎかう!
 パーソナリティ: 小栗かおる
 毎月第三火曜日
 18時~18時20分

次回ゲストは、三嶋禎司さんです。
 お楽しみに!

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。
 FMららアプリダウンロード QRコードはこちら。



3月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。



不燃ごみ等収集日 23日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
 金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 21日(日)

時間: 8時から10時
 場所: 町内各自治会公民館
 収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

北村 勉 (酒倉) 86歳
 間下 歌子 (大針) 85歳
 花村 昌二 (大針) 90歳
 竹内 伸子 (黒岩) 72歳